

第 63 回クラシックを楽しむ会

2019 年 3 月 24 日（日）18:00～（2 時間 5 分、休憩除く）

タイトル：歌劇「トスカ」（プッチーニ）

会場等：ザルツブルク復活祭音楽祭 2018
ザルツブルク祝祭大劇場（オーストリア）
（2018 年 3 月 21・24 日、4 月 2 日）

管弦楽：ドレスデン・シュターツカペレ*、
ザルツブルク・バッハ合唱団、
ザルツブルク音楽祭および劇場児童合唱団

指揮：クリスティアン・ティーレマン

演出：ミヒャエル・シュトゥルミンガー

出演：アニヤ・ハルテロス（トスカ）
アレクサンドルス・アントネンコ（カヴァラドッシ）
リュドヴィク・テジエ（スカルピア男爵）
アンドレア・マストローニ（アンジェロッティ）
その他



第 3 幕、恋人が処刑された事実絶望するトスカ

あらすじ

トスカに横恋慕する警視総監スカルピアは、トスカの恋人カバラドッシを犯人隠匿の罪で捕え、その助命と引替えにトスカを口説く。トスカは通行証を手に入れるとその場でスカルピアを刺殺。助命は偽りでカバラドッシは処刑されてトスカは絶望、城壁から身を投げる。

見どころ聴きどころ

主役 3 人がすべて死ぬという劇的オペラ。第 2 幕でトスカが「歌に生き、恋に生き」を歌ったあとスカルピアを刺殺する場面。第 3 幕でカヴァラドッシがトスカとの楽しかった日々を回想して「星はきらめき」を歌う場面。トスカが処刑場に駆け込んでカヴァラドッシに処刑は偽と伝えて二人は喜ぶが、銃声の後、トスカはカヴァラドッシが処刑されていた事実絶望、追っ手が迫る中、城の胸壁から身を投げるクライマックスの場面はいずれも手に汗をにぎるドラマである。

ザルツブルク復活祭音楽祭

1967 年にカラヤンが設立。2013 年にベルリン・フィルからシュターツカペレ・ドレスデン*が音楽祭を引き継ぐ。2017 年の創設 50 周年には第 1 回公演のカラヤン演出「ワルキューレ」が再演された。

*ドレスデン・シュターツカペレはドイツ東部ザクセン州立の名門歌劇場ゼンパー・オーパー（“ドレスデン国立歌劇場”とも）専属のオーケストラ。首席指揮者は 2012 年からクリスティアン・ティーレマン。

第 64 回クラシックを楽しむ会(予告)

タイトル：歌劇「魔笛」（モーツァルト）

4 月 21 日(日) 17 時 30 分開場、18 時上映開始

サヴァリッシュ指揮のバイエルン国立歌劇場 1983 年公演。クルト・モル（ザラストラ）、エディタ・グルベローヴァ（夜の女王）、フランシスコ・アライサ（タミーノ）、ルチア・ポップ（パミーナ）ら往年の名歌手登場！

5 月以降、ザルツブルク音楽祭 2018 年 8 月の歌劇「スペードの女王」、ベルリン国立歌劇場 2018 年 6 月公演の歌劇「マクベス」、ミラノ・スカラ座 2018/19 開幕公演の歌劇「アッティラ」などを予定。

あらすじ

【時と場所】

1800年6月17-18日。当時ローマは共和制が崩壊して王制のもとで恐怖政治が行われていた。

【登場人物】

トスカ： 歌姫
カヴァラドッシ： トスカの恋人、画家
スカルピア： ローマの警視総監
アンジェロッチェ： 政治犯、共和主義者
その他

【第1幕】 聖アンドレア・デッラ・ヴァッレ教会、6月17日昼下がり

王制側の警視総監スカルピアは、共和主義者を次々と投獄していたが、そのひとりアンジェロッチェは脱獄して聖アンドレア・デッラ・ヴァッレ教会に身を隠す。この教会でマリアの絵を描いていた共和主義の同志の画家カヴァラドッシは、脱獄してきたアンジェロッチェを隠れ家に案内する。

アンジェロッチェを追ってきて教会を捜索していた警視総監スカルピアは、ローマの歌姫トスカを見つける。スカルピアはトスカが恋人カヴァラドッシの家に行くように仕向け、部下に尾行させる。

この時、スカルピアには王政軍がナポレオン軍を破ったという誤報*が入る。

*1800年6月14日の「マレンゴの戦い」でナポレオン軍がオーストリア軍に勝利した。

【第2幕】 ファルネーゼ宮殿3階のスカルピア自室、6月17日夕刻

スカルピアは、連行されてきたカヴァラドッシを拷問にかけアンジェロッチェの居場所を聞き出そうとするが口を割らない。スカルピアはトスカを呼びつけ、恋人が拷問されているのを見せる。トスカはそれに耐えられず隠れ家の場所を教えてしまう。

そのときナポレオン軍が王政軍を破ったとの報告が入る。喜ぶカヴァラドッシに怒ったスカルピアはカヴァラドッシを死刑にする。

トスカはスカルピアにカヴァラドッシの助命を嘆願する。スカルピアはトスカの体と引き換えにカヴァラドッシの命を助けると約束する。スカルピアの手がトスカの体に触れようとした瞬間、トスカはそこにあったナイフでスカルピアを刺し殺す。

【第3幕】 サン・タンジェロ城の屋上、6月18日夜明け前

トスカはサン・タンジェロ城の牢屋に捕らわれているカヴァラドッシのもとに駆けつける。トスカは一部始終を彼に話し、銃殺刑は空砲で見せかけのもので、その後一緒に逃げられると伝える。

処刑が執行され、トスカがカヴァラドッシに近寄ると、カヴァラドッシは死んでいる。トスカはスカルピアとの約束が嘘だったことに気づく。ちょうどスカルピア殺害を発見した兵士が追ってくる。トスカは城壁から身を投げ命を絶つ。

補足。

上記教会と宮殿は共にローマ旧市街に、サン・タンジェロ城はテベレ川対岸バチカン市国にある。距離はほぼ1km余りの近さ。



聖アンドレア・デッラ・ヴァッレ教会のファサード



ファルネーゼ宮殿、現在はフランス大使館



サン・タンジェロ城、テベレ川対岸から。現在は博物館

出演者

アニヤ・ハルテロス（トスカ）（1972-）ギリシア人の父ドイツ人の母を持つドイツ人ソプラノ歌手。バイエルン宮廷歌手の称号も得てキャリアの絶頂期にある。

アレクサンドルス・アントネンコ（カヴァラドッシ）（1975-）ラトビア・リガ生まれのテノール歌手。2008年ザルツブルク音楽祭でのオテロで脚光を浴び、2012年のコベントガーデンのオテロ公演ではハルテロスと共演している。

リュドヴィク・テジエ（スカルピア）（1968-）フランス・マルセイユ生まれのバリトン歌手。歌唱力と整った風貌、独特の眼力で人気を誇る。

アンドレア・マストローニ（アンジェロッティ）イタリア・ミラノ生まれのバス歌手。クラリネットを学んだ後、声楽の他に美学を学んだ。メトやコベントガーデンなどに出演している。

クリスティアン・ティーレマン（指揮）（1959-）は、ドイツ・ベルリン出身の指揮者。2012年にシュターツカペレ・ドレスデンの首席指揮者の他、ウィーン・フィルやベルリン・フィルなどへ定期的に客演。バイロイト音楽祭やウィーン国立歌劇場で活躍するなど、コンサートとオペラ両面にて評価を得ている。ウィーン・フィル・ニューイヤー2019にデビューした。

ミハエル・シュトゥルミンガー（演出）（1963-）、はウィーン生まれの演出家、映画監督。アンデアウィーン劇場、ブレゲンツフェスティバル、ウィーン国立歌劇場、チューリッヒオペラハウス、ザルツブルクフェスティバルなどの舞台を演出している。



ハルテロス



アントネンコ



テジエ



マストローニ



ティーレマン



シュトゥルミンガー

時代背景

ナポレオンのアルプス越えとマレンゴの戦い

1800年5月、北イタリアをオーストリア軍から奪還するため、ナポレオンはフランス軍 37,000 を率いてモンブランの東 15km のグラン・サン・ベルナル峠を越え北イタリアへ進出。6月14日、フランス軍はジェノバの北 40km にある「マレンゴの戦い」でオーストリア軍に勝利、オーストリアによる第二次対仏大同盟は崩壊する。激戦で戦況が錯綜、ローマに誤報が届いたのは3日後。*「セント・バーナード犬」は「グラン・サン・ベルナル峠」に、ナポレオンの愛馬「マレンゴ」とフランス料理の「鶏のマレンゴ風」はこの戦いに由来。



「アルプスを越えるナポレオン」



ナポレオンは「マレンゴの戦い」で勝利

フランス革命に影響された共和派蜂起と王党派の巻き返し

フランス軍占領下のローマで 1798 年教皇領が倒されてローマ共和国が成立。ナポリも一時フランス軍に占領され 1799 年にナポリ革命発生。フランス軍撤退でイギリスのネルソン提督と同盟を結んだナポリ王国派が巻き返す。共和派を徹底的に弾圧して数千人を処刑。1799 年 9 月ナポリ王国軍部隊がローマを占領しローマ共和国は終焉。ナポリ秘密警察が共和派残党を弾圧。1800 年 7 月 3 日新教皇ピウス 7 世が教皇領を復活した。

補足。ダヴィッド画 5 枚の「ナポレオン」はヴェルサイユ宮殿他に展示、「マレンゴ」はウィーン・ベルヴェデーレ宮殿ほかに展示。ダヴィッド画「戴冠式」はヴェルサイユ宮殿とルーブル美術館に展示。



ナポレオン戴冠式のピウス 7 世（右端）